

### Ⅲ 平成24年度「体育・スポーツ推進計画」主要施策の実施状況

#### 基本施策（5つの柱）別総括

（記載様式1号）

柱2																					
子どもの体力向上と体育の充実																					
（目標） 自らすすんで運動に親しむ幼児、児童生徒を育成する学校体育の推進																					
基本施策目標の達成状況																					
指標	現状 (H23)	達成状況 (H24)	目標 (28年)																		
<b>○新体力テストの平均点</b> 小学校における新体力テスト平均点	49.3点	49.7点	50点																		
<b>（基本施策指標）</b>																					
<p>◆小学校における新体力テスト（8種目80点）平均点</p> <table border="1"> <caption>小学校における新体力テスト（8種目80点）平均点推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>平均点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H18</td> <td>48.5</td> </tr> <tr> <td>H19</td> <td>48.9</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>49.0</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>49.1</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>49.1</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>49.3</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>49.7</td> </tr> <tr> <td>目標 (28年)</td> <td>50.0</td> </tr> </tbody> </table>				年度	平均点	H18	48.5	H19	48.9	H20	49.0	H21	49.1	H22	49.1	H23	49.3	H24	49.7	目標 (28年)	50.0
年度	平均点																				
H18	48.5																				
H19	48.9																				
H20	49.0																				
H21	49.1																				
H22	49.1																				
H23	49.3																				
H24	49.7																				
目標 (28年)	50.0																				
小学校期が生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を養う上で重要であることから、千葉県 <small>の</small> 小学生（1年生～6年生から抽出）の新体力テストの平均点が、平成28年度には、50点を上回ることを指標として設定した。新体力テストの調査項目としては、①握力 ②上体起こし ③長座体前屈 ④反復横とび ⑤20mシャトルラン ⑥50m走 ⑦立ち幅とび ⑧ソフトボール投げの8項目である。それぞれの項目ごとの記録に対し、10点満点（合計80点）で評価できるように基準が定められています。																					
<b>（総括）</b>																					
<b>施策1 幼児期における体力づくりの推進</b>																					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼稚園教員の資質・指導力の向上を図る研修として、幼稚園教育課程研究協議会において、各園で「幼児期運動指針」を活用した活動や環境づくりが行われるよう指導しました。</li> <li>・ 基本的な生活習慣や運動・読み聞かせの勧め等、家庭教育や子育てのポイントをまとめた幼児版家庭教育リーフレットを6万部作成し、3歳児健診の場などを活用し、幼児を持つ保護者へ配布しました。</li> <li>・ この施策の指標である「家庭で1時間以上運動遊びやスポーツする幼児の割合」では、平日で28.6%、休日で55.0%、全体で41.0%となりました。</li> </ul>																					

## 施策2 教科体育の充実

- ・ 課題として、①運動する子どもとそうでない子どもの二極化 ②子どもの体力の低下傾向が依然深刻 ③運動への関心や自ら運動する意欲、各種の運動の楽しさや喜び、その基礎となる運動の技能や知識など、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の育成が十分に図られていない例も見られることが挙げられます。

この施策の指標である「体育授業を好きと答える割合」では、「体育の授業が好きですか」という問いに対して小学校5年生で、約84%の児童が「好き」、「少し好き」と答えています。同様な回答として、中2で約75%、高2で74%の生徒が肯定的な回答をしています。

## 施策3 児童生徒の体力の向上

- ・ 本県では、昭和39年から、県体力・運動能力調査を県内の全公立小・中・高等学校で実施するなど、長年、体力向上を重点施策に位置づけています。近年、子どもの体力低下が叫ばれたのを機に、「いきいきちばっ子健康・体力づくり事業」を平成19年から開始し、各学校を中心に体力の向上に取り組んでいます。

課題として運動をする子とそうでない子の体力の差が認められており、運動の習慣化が課題です。本県では、遊び感覚で運動ができるように各種事業を展開したり、体育の授業を通して運動やスポーツ好きの児童生徒を育てたりするなど、体力の向上事業を推進しています。

- ・ 運動能力証交付事業としては、新体力テスト（テスト8項目のうち、中・高校生は、ハンドボール投げ）の結果により、各年齢ごとに文部科学省が定めた得点のA段階の者に運動能力証を毎年交付しています。この施策の指標である運動能力証交付率の推移を見ると、年々上昇し、全体の目標値30%に迫りつつあります。

（参考：平成23年度の本県の小学5年生のA段階の割合は、全国：男子7位、女子5位、中学2年生のA段階の割合：全国男子6位、女子3位 → 体力・運動能力・習慣等調査より）

## 施策4 運動部活動の充実

- ・ 急激に変化する社会情勢の中、児童生徒及び保護者の価値観や個性、運動に対するニーズはますます多様化するとともに、生徒数の減少や顧問の高齢化等に伴い運動部活動の運営に問題が生じてきています。

そこで、これからの運動部活動の在り方を検討し、学校・地域・保護者・児童生徒等の実態に即した運営ができるよう十分に留意する必要があります。

- ・ この施策の指標である中・高等学校における運動部活動加入状況については、中学校では、平成16年度までは、ほとんど変化なく推移してきましたが、平成17年度から低下傾向が続いています。高等学校では、平成12年度から若干の増加が見られ、平成17年度から40%を越え、その後40%前後で推移しています。

近年の加入率は、平成23年度が、66.2%。高校生が、40.0%。平成24年度が、中学生65.4%、高校生41.3%です。目標値である、中学生70%、高校生45%へ向け、今後も、更なる運動部活動の充実・発展のために尽力していきます。

## 施策5 子どもの体力向上に向けた食育の推進

- ・ 児童生徒の食習慣・生活習慣の改善の指標として、朝食欠食率としました。平成24年度は小学校5年生で2.0%、中学校2年生で4.0%、高校2年生で13.0%でした。朝食を欠食する児童生徒は減少傾向にあり、毎日朝食を食べる児童生徒は増加傾向にあります。

## 今後の課題と対応

### 施策1 幼児期における体力づくりの推進

- ・ 幼稚園教諭や保育士への研修の機会を増やし、より多くの指導者が研修を受けられるようにすることで、指導者の理解を深め、「幼児期運動指針」を活用した活動や環境づくりが行われるようにします。
- ・ 幼児版家庭教育リーフレットを今後も継続して配布するとともに、幼稚園・保育所の職員へリーフレットについて周知を図っていきます。

### 施策2 教科体育の充実

- ・ 今後は、さらに、指導者の力量の向上のための研修会を充実させ、児童生徒が運動の楽しさに触れながら、運動やスポーツに親しむ資質や能力を高めることができる質の高い授業実践を目指していくことが大切であると考えています。

### 施策3 児童生徒の体力の向上

- ・ 児童・生徒の体力は、国の統計と同様に、千葉県も近年では現状を維持しています。しかし、児童生徒の体力がピークであった昭和60年度と比較すると、50m走、握力では、優れた記録が出ている学年もあり、同じ水準に達しているものもある反面、ボール投げについては、依然低い水準にあります。また、新体力テストの結果を統計的にみると、約6割の項目で国の平均を上回り、全国的にも常に上位の位置を占めています。平成24年度の調査によると、小学生（1年生～6年生から抽出）の新体力テストの平均点が、49.7点となり、本年度の目標値である49.5点を上回ることができました。平成28年度には、50点を上回ることを指標として設定しているので、さらに、「いきいきちばっ子健康・体力づくり推進事業」等の推進を図ります。

### 施策4 運動部活動の充実

- ・ 指導者（顧問）については、小中学校体育連盟、高等学校体育連盟及び高等学校野球連盟の顧問の平均年齢が、平成23年度で、40歳を超え、高齢化しています。また、高体連では、約30%の顧問が「競技経験がなく、技術指導は不可能」と回答しており、およそ3人に1人は技術指導が難しいことがわかります。事故防止については、学校及び指導者（顧問）が、児童生徒に事故を未然に防止する能力を育成するとともに、活動場所の安全対策や練習方法の検討、点検など未然に防止できる部分への即効性のある対策を講じ、事故の発生防止に努めます。

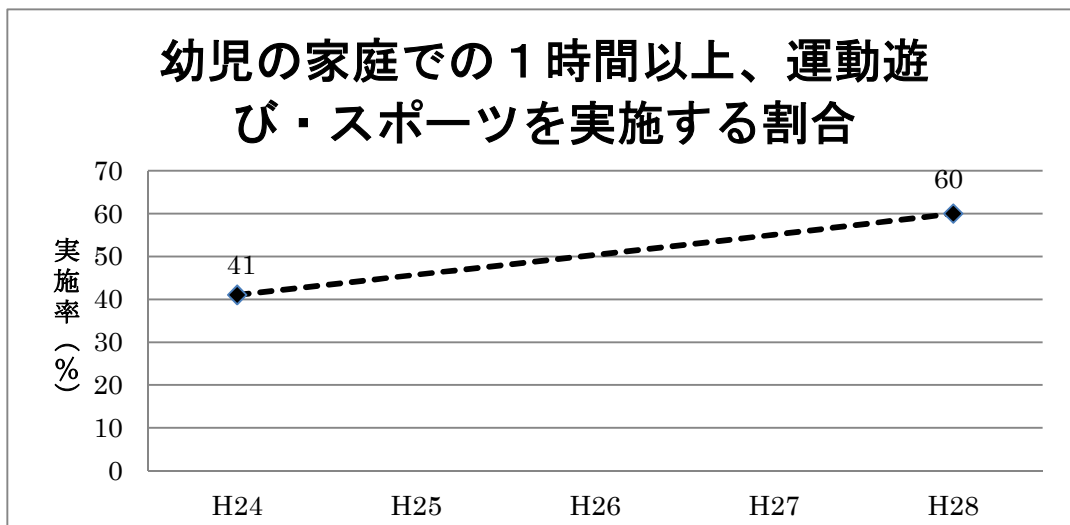
### 施策5 子どもの体力向上に向けた食育の推進

- ・ 平成25年1月に、第2次千葉県食育推進計画が策定されました。その中で、児童生徒の朝食摂取状況の改善について、朝食欠食の割合の減少を指標として取り上げ、小学生・中学生・高校生ともに「0%をめざす。」としています。高等学校の学習指導要領にも、「食育の推進」が明記されました。小中学校での指導を踏まえ、食生活の自立を目指すことが必要とされています。
- ・ 児童生徒の食習慣・生活習慣を改善するためには、学校における食育を計画的・継続的・組織的に行うことが重要です。栄養教諭・学校栄養職員及び学校給食関係者の参加する研修会等において、食に関する指導の全体計画及び年間計画の作成及び計画に基づいた指導について働きかけ、児童生徒の食習慣・生活習慣の改善を図るとともに、各種たよりや保護者を対象とした様々な会合において保護者への啓発を図ります。

## 柱2 子どもの体力向上と体育の充実（基本施策に紐づく下位指標の達成状況）

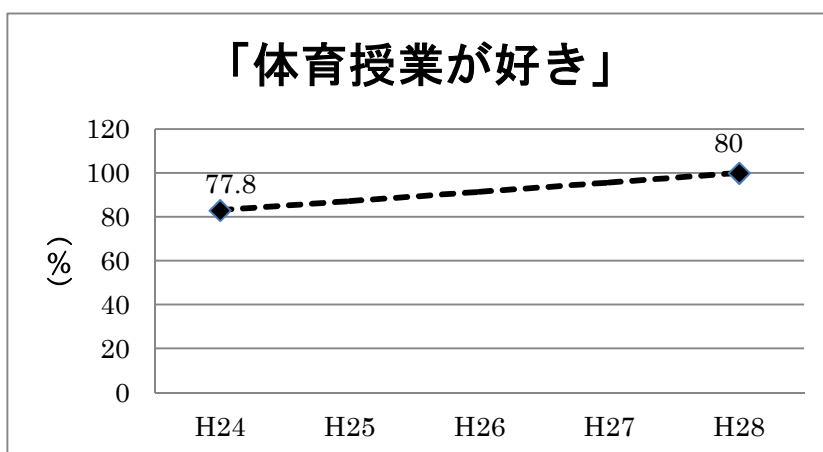
### 施策1 幼児期における体力づくりの推進

○幼児の外遊び時間 \* 家庭で1時間以上運動遊びやスポーツをする幼児の割合



### 施策2 教科体育の充実

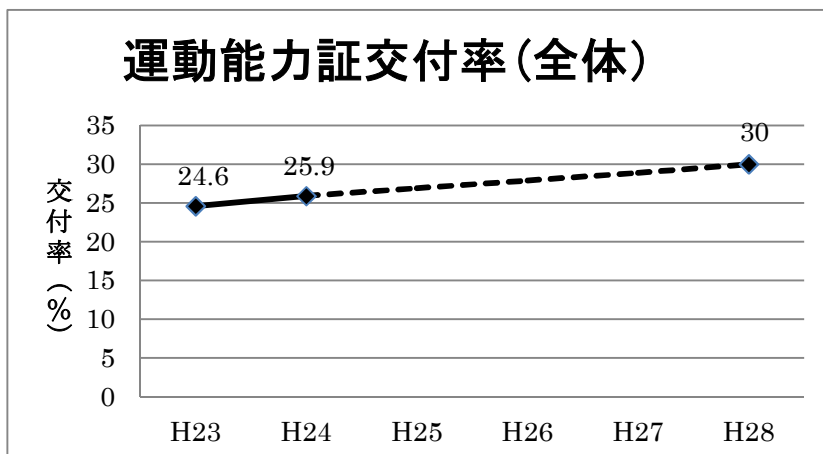
○体育授業を「好き」と答える割合 \* 調査における、体育授業が「好き」と答える割合



### 施策3 児童生徒の体力の向上

○千葉県運動能力証の交付率

\* 小学5、6年生、中学及び高校生の新体カテストの合計点がA段階の児童生徒の割合

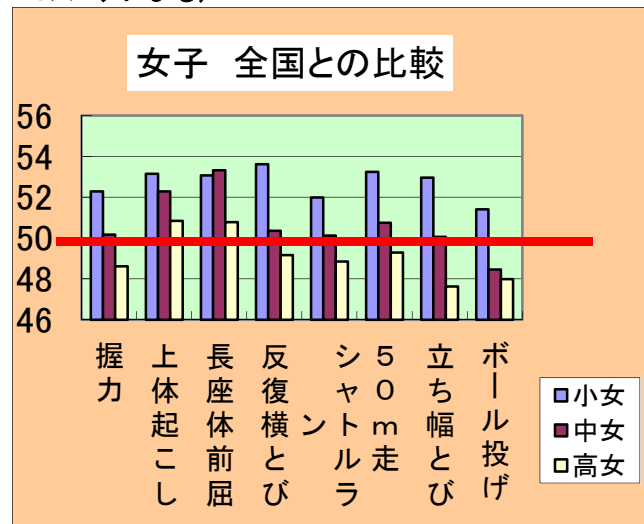
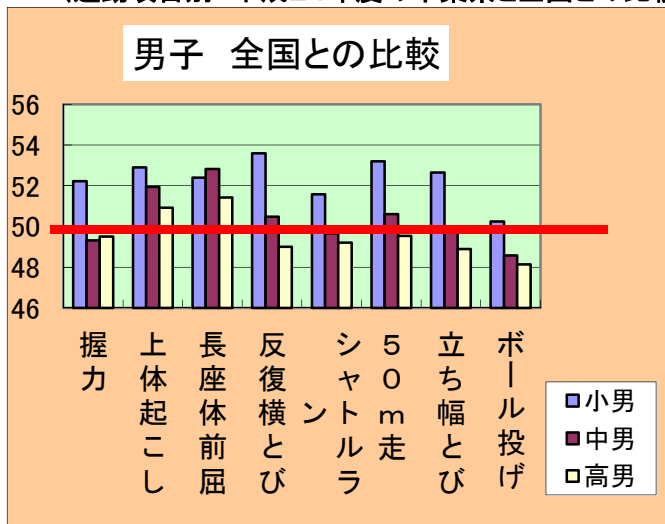


### 参考「小学校5年生と中学校2年生における県平均と全国平均との比較」

※平成24年の数値は、県平均、昭和60年の数値は、全国平均

県平均と昭和60年の全国の比較	小学校5年生（11歳）				中学校2年生（14歳）			
	男子		女子		男子		女子	
種目	県	全国	県	全国	県	全国	県	全国
握力(kg)	17.83	18.35	17.67	16.93	30.19	31.61	24.28	25.56
50m走(秒)	9.03	9.05	9.31	9.34	7.79	7.90	8.67	8.57
ボール投げ(m)	24.94	29.94	14.99	17.60	21.70	22.10	13.37	15.36

(運動項目別 平成24年度の千葉県と全国との比較 Tスコアによる)



※全国平均を50としたときの本県のTスコア比較

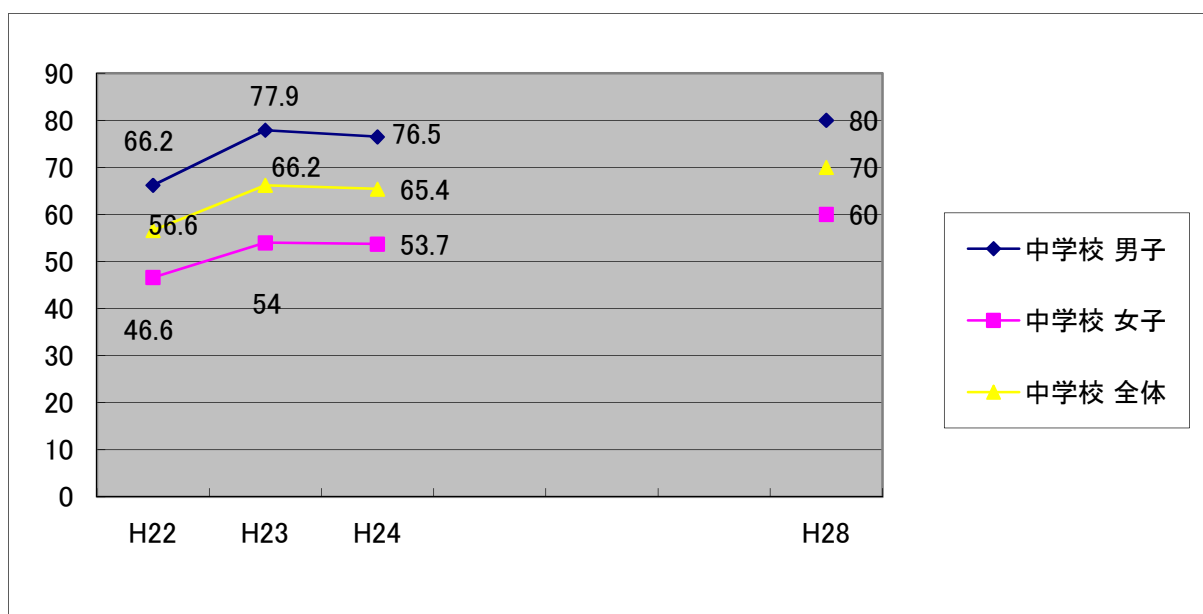
### 施策4 運動部活動の充実

○本県の運動部活動加入率の推移

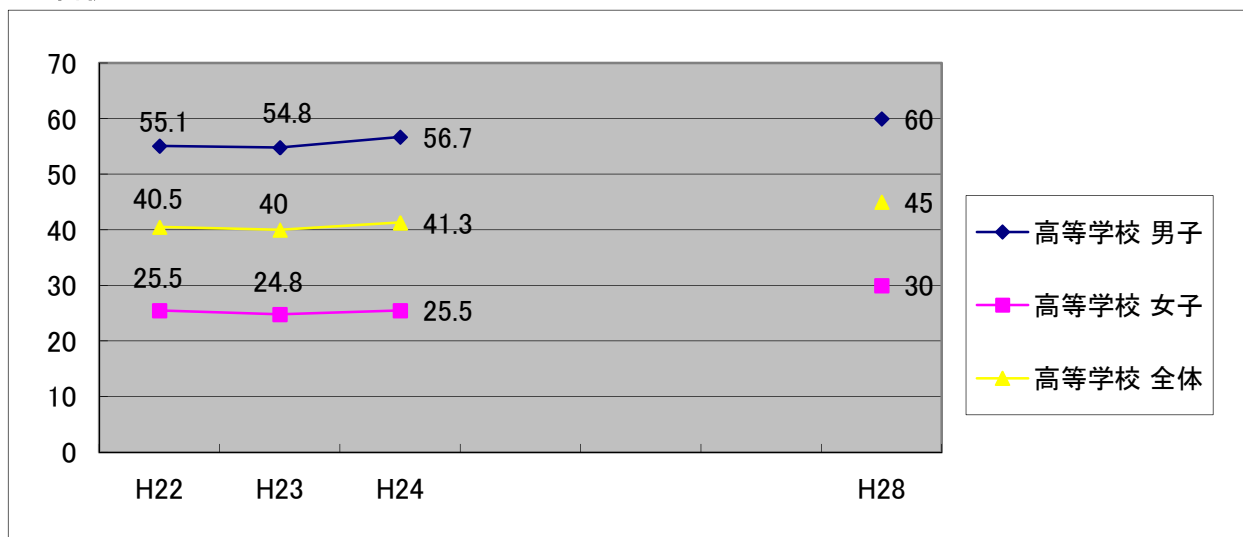
\* 中・高校の児童生徒との運動部活動への加入率

<中学生>

数字 (%)



<高校生>



施策5 子どもの体力向上に向けた食育の推進

○児童・生徒の朝食摂食率

\* 調査における朝食を「毎日、食べる」と答えた割合

\* 朝食を毎日食べる児童生徒の状況

	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
小学5年生	91.3%	92.0%	92.0%	91.8%	91.9%
中学2年生	83.4%	85.4%	84.9%	86.8%	87.7%
高校2年生	—	—	—	—	72.5%

\* 朝食を欠食する児童生徒の状況(週に4~5回食べない・ほとんど食べない)

	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
小学5年生	2.4%	1.9%	2.0%	2.0%	2.0%
中学2年生	6.2%	5.2%	5.1%	4.4%	4.0%
高校2年生	—	—	—	—	13.0%

(小・中学校:平成24年度 千葉県 学校給食実施状況調査より)

(高校:平成24年度「県民の運動・スポーツに関するアンケート調査」より)

